NEWS　RELEASE

2022 年 6 月 14 日

株式会社地球クラブ向けの非 FIT 再エネ電力供給事業が
令和 3 年度補正予算「需要家主導による太陽光発電導入促進補助金」に採択
～発電事業者、アグリゲータ、小売電気事業者がそれぞれにおいて安定収益を実現～

このたび、発電事業者である日本 BSL 株式会社（以下、日本 BSL）が発電する再エネ電力を、小売電気事 業者である株式会社地球クラブ（以下、地球クラブ）に供給する事業が、経済産業省による令和 3 年度補正 予算「需要家主導による太陽光発電導入促進補助金」に採択されました。本事業において運転開始後は、東芝エネルギーシステムズ株式会社（以下、東芝 ESS）がアグリゲータとして参画し、東芝 ESS がインバランスリスクを負担しながら小売電気事業者を通じて日本生活協同組合連合会をはじめとした需要家に再エネ電力を供給します。

日本 BSL は、2023 年 2 月までに 3 つの太陽光発電所（千葉県旭市、茨城県古河市、茨城県牛久市の合計 出力約 2.25MW）を建設予定で、今回の事業は、その建設費用の一部に対し補助金が支給される非 FIP のオフサイト PPA（電力販売契約）です。運転開始後は、東芝 ESS が再エネ BG 注 1 を構成し、本発電所で発電さ れた再エネ電力を固定価格で買い取り、地球クラブを通じて日本生活協同組合連合会をはじめとした需要家 に再エネ電力を供給します。東芝 ESS は精度の高い東芝ネクストクラフトベルケ株式会社のシステムを活用 して、再生可能エネルギーを束ね、計画値同時同量注 2 業務と取引業務を発電事業者である日本 BSL に代わ って行います。日本 BSL は、本サービスに加入することで、バランシング責務とマーケットリスクを負いません。また、本契約では 10 年間、東芝 ESS が固定価格で地球クラブに電気を供給するため、日本 BSL、地球クラブ、東芝 ESS それぞれが安定した収益を上げられることとなります。

本件は、太陽光発電架台をメインとした専門商社の日本 BSL および電気の産地にこだわる地球クラブならびに電力バランシング技術力のある東芝 ESS の連携および補助金への採択により実現した太陽光発電設備の導入モデルとなります。

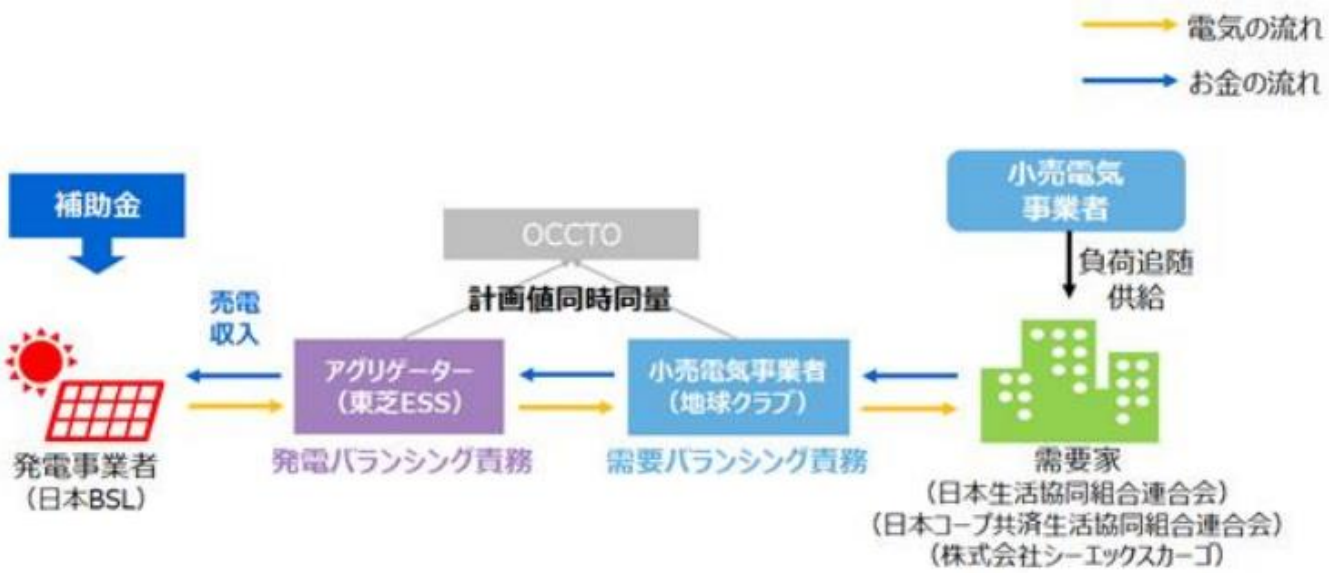
日本 BSL は、低圧から特別高圧まで太陽光発電所の開発・建設・売買などの事業展開をしています。近年、 兵庫県で 120MW、福島県で 100MW など、このような日本最大級の発電所を含め、数十ヶ所の特高案件の架台受注実績があります。

脱炭素へ向けた動きが加速している現在、発電事業者としても FIT・Non FIT 含め 100MW 以上の再生可能エネルギー発電所を目標とし、エネルギー供給に積極的に取り組んでいきます。

地球クラブは、生協の電力事業を担うために設立された日本生活協同組合連合会の子会社です。発電・利用一体の再生可能エネルギーの普及 “つくって つかって ひろげて”という考え方を電力事業の柱としています。再生可能エネルギー電力の開発および最大限の調達を行い、会員生協の事業所や組合員家庭へ安定供給することを通じて、持続可能な社会の実現に寄与していきます。

東芝 ESS は、エネルギー機器メーカーとして培ってきたノウハウにデジタル技術を組み合わせることで、 付加価値の高いサービスを提供することによってカーボンニュートラル社会の実現を目指していくと共に、 再エネアグリゲーション事業を通じて、再エネを活用した安定的かつ効率的な電力システムの実現に貢献していきます。

■本契約の体制



<お問い合わせ先>

日本 BSL 株式会社　信　佰慧（シン　ハクケイ）

TEL：047-406-4577　E-mail：shinbsleco@gmail.com